



栄養食をもらう前に、ボランティアスタッフの指導で手を洗う子どもたち

### 教育を通して夢をはぐくむ

所々で煙が立ち上るごみの山の片隅で、リサイクルできそうなモノを拾い集める大人や子ども。人口約50万のイロイロ市のごみを一手に引き受けるカラフナン村の投棄場では、周辺住民のおよそ1000人が換金可能なごみを集めて、生計を立てている。

「お金が足りないときは、放課後にごみを拾うの。それが一番大変」

そう話すマイさん(13)は、中学1年生。8人家族全員が交代でごみ拾いをして、一食も食べられない日もある。それでもしっかりと勉強して「将来は名探偵になるの!」と、ユニークな夢を抱く。

マイさんをはじめ、投棄場周辺で暮らす子どもたちが楽しみにしているのが、

昨秋から今春にかけては、ドーナツ工場と動物園への「社会見学」と、グループでの共同作業を学ぶ「泊無人島キャンプ」も実施された。LOOB JAPAN代表の小林幸恵さんは、「投棄場を離れ、この国の美しい自然の中へと子どもたちを連れ出して活動できたことが、何よりもうれしい」と話す。

またLOOB JAPANでは、日本人ボランティアがホームステイする2つの漁村とカラフナン村の計3カ所、7〜16歳の子ども計74人に学費支援を行っている。そのうち15人分がJICA基金で賄われている。「子どもたちが継続して学校へ通えるよう、教育サポート会員を常に募集しています」と小林さん。これらの活動はどれも、子どもが「ごみ拾い以外の未来」を手にするために重要な支援だ。

### 製品を生み出す誇り

子どもだけでなく、大人たちも今、LOOB JAPANの支援を受けて、ごみ拾いで生計を立てる毎日から抜け出そうとしている。

というのも、イロイロ市が進める「ごみの分別」により、近々カラフナンの投棄場は、土に返るものだけを埋める場所に生まれ変わろうとしているからだ。市はすでに投棄場内でごみを拾う人の数を制限し始め、敷地内にはプラスチックだけを選別するリサイクル施設を設置した。ここでごみを拾う仕事は、そのうちなく



～届け 私たちの思い～



フィリピン  
イロイロ市  
マニラ

## ごみ山とともに暮らす 人々の未来をつくる

イロイロ市を拠点に、国際協力と国際交流活動に取り組むNGO「LOOB JAPAN」が、現地の人々と日本人ボランティアの力を結集し、「スカベンジャー(再生ごみを拾い集めて生計を立てる人)」として暮らす人々の生活を改善を支援している。

文：工藤律子 写真：篠田有史



カラフナン村のごみ投棄場。再生可能なごみを拾い集めて売っても、日本円で1日200円程度の収入しかない

なるかもしれない。

だが、このリサイクル施設で数日に一度働くサイベルさん(43)は言う。「8時間作業をしても50ペソ(約100円)しかもらえないんです。だからごみ拾いも続けています。1日70〜100ペソにはなりませんから」。

新たな生計手段を確立するために、LOOB JAPANはリサイクル素材を利用した裁縫プロジェクト「CSNリサイクルラズ・アソシエーション」を支援している。「CSN」はメンバーが住む3つの地域名の頭文字だ。投棄場で働いていた女性や若者15人が、市場の2階に市が提供してくれた部屋でミシンを並べ、



(右)「世界一の探偵になりたい」と夢を語るマイさん。多くの子どもは彼女のように放課後や週末に働くか、学校をあきらめて働く  
(左)アルミパック製のバッグを仕上げるハイディさん。LOOB JAPANに指導を受けた裁縫技術で、企業などから寄付されたミシンを使って製品を作る

LOOB JAPANの支援で作られているリサイクルバッグは、インターネットショップ「ハロハロプロダクツ」(<http://shop-online.jp/ecojuicepack/>)で購入できます。

フィリピンで低所得者の自立支援などを行っているNGO「LOOB JAPAN」が、「世界の人々のためのJICA基金」(囲み記事参照)を活用して実施する、4つの活動だ。

その一つは、「週末英語アクティビティ」。月数回、週末に投棄場の脇にあるスペースで、現地のボランティアと日本人ボランティアが協力して、60人近い子どもたちと英語を使った遊びを行う。イロイロ市から、学校に行けない子どもたちに教育の機会を提供する「オルタナティブ学習制度」として評価されている活動だ。

アクティビティの後は、「栄養食配給」。軽食の提供を通して、栄養や、食事前の手洗いなどの衛生管理についての知識を広めている。

ゲームを楽しむ子どもたち。ボランティアスタッフが心を込めて準備した遊びを通して、英語やさまざまな知識はもちろん、遊ぶ喜びも得ている



サイベルさんの家は、投棄場(左手の塚の向こう)のすぐ脇にある。空気が汚染されているせいか、10歳の息子はぜんそくに苦しんでいる

### あなたの小さな一歩から始まる国際協力 世界の人びとのためのJICA基金

JICAでは、国際協力に関心のある日本の皆さまからの寄付を、開発途上国の貧困削減や環境保全への取り組みに活用する「世界の人びとのためのJICA基金」で受け付けています。皆さまのご支援をお待ちしております。

#### 寄付金の使われ方

お寄せいただいた寄付金は、途上国の貧困削減、医療や教育の提供、環境問題の解決などに取り組むNGOの活動に充てられます。各支援活動や寄付金事業収支についてのご報告は、「JICA寄付サイト」で公表します。

#### 寄付の方法

「JICA寄付サイト」からお申し込み下さい。クレジットカードによる決済や、銀行・郵便振込みなどがお使いいただけます。JICA寄付サイトURL:<http://www.kifu.jica.go.jp>